

スキトレ企画書

作成日： 2023年 3月 2日

校名： とふろう南校 企画者： 吉川

活動名：ウサギとカメ		
本活動の着眼点		
粗大運動の発達促進を目的として本活動を立案		
本人支援5領域とのつながり		
<input type="checkbox"/> 健康・生活	<input checked="" type="checkbox"/> 認知・行動	<input checked="" type="checkbox"/> 運動・感覚
<input checked="" type="checkbox"/> 人間関係・社会性	<input type="checkbox"/> 言語・コミュニケーション	
生活上の困り感 (実施者に確認して頂きたい内容)	目的・趣旨(OT的視点)	
<ul style="list-style-type: none">・運動がぎこちない・走るとき手と足がバラバラになる・よく転ぶ・縄跳びができない	<ul style="list-style-type: none">・粗大運動の発達促進・協調運動の発達促進・ボディイメージの獲得	
活動の概要(実施者に確認して頂きたい内容)		
【場所】 各校活動室		
【所要時間】 約 5分～ 10分程度		
【人数】 2人～		
【対象者】 ・四つ這いでの移動が自立してできる4歳～7歳の児童		
【必要な道具】 ・テープ（床に貼るスタートとゴールの目印） ・お面：顔を隠さないもの ・マットやクッション（衝突時の怪我防止：あればより安心）		
活動の進め方		
【進行方法・ルール】 未就学児を対象に行う場合 1) 活動の準備 スタートラインとゴールラインをテープで明示する 必要であればレーンもテープで作成する ウサギとカメのお面をそれぞれ参加人数分と大人1人分作成する 2) 活動内容		

スキトレ企画書

ウサギとカメの童話に倣ったクリーチャートレーニング

ウサギは両手、両足の順にそれぞれ左右同時に動かして進む

カメは右手左足、左手右足のよう左右ばらばらに動かしてゆっくり進む

2つの動きをそれぞれこどもたちがする前に実演して見せる

A. こどもたちがウサギになる場合

1. こどもたちがウサギになり先行する
2. カメ（大人）が近付くまでゴール前で休憩
3. カメがゴールに近づいたタイミングで進行役がウサギたちに声を掛ける
4. ウサギはカメに気付いて再スタートしウサギ（こどもたち）の勝ち

B. こどもたちがカメになる場合

1. 大人がウサギになり先行しゴール前で休憩する
2. カメ（こどもたち）はウサギを起こさないようゆっくり進む
3. 進行役はカメ（こどもたち）にゆっくり進むよう声掛け
4. 「うさぎさんの音が聞こえたなあ」などつぶやきながら気付かずに待つ
5. ウサギに気付かれずにゴールしたカメ（こどもたち）の勝ち

【役割：進行・補助・+α】

進行、声掛け（こどもたちの味方）：1人

ウサギとカメ役：1人

安全管理：2人以上

スタッフの着目点

- ・カメでゆっくり進む際ふらつきがあるか、左右別々に動かしているか
- ・ウサギで進む際左右同時に動かしているか、両手の幅は適切か

活動を行う上での注意点

- ・こども同士の衝突を防止できる距離を確保する
 - ・ゴールした先で止まり切れなかった場合の壁等への衝突を防止する
 - ・ノンストップウサギ、ハイスピードカメなどもダメではない
- 上記の行い方よりも童話に倣った方が楽しいと感じる関わりが望ましい

予算

- ・養生テープ 110円（100均）
- ・お面作成用画用紙 緑・白 220円～（100均）
- ・お面作成用輪ゴム 110円（100均） ※なくてもお面を着用できれば不要

計 440円～

その他

ウサギ
両足は閉じる
可能であれば膝も閉じる



スキトレ企画書